

小学校低学年の部

優秀賞

見つけたいな、大分のすてき

大分市立春日町小学校 2年

うえ の ゆ き ほ
上 野 由 妃 帆

わたしのお父さんは、けいさつかんです。だから、てんきんがあつて、わたしは、生まれて四かいひっこしをしています。

その中でも、一ばん心にのこっているのは、豊後高田市にすんでいた四才のときのことです。わたしは、ようちえんの年中で、ちがうばしょでくらすことや新しい友だちができることで、ドキドキわくわくしていました。

家族で行った、長さきばなや、ま玉海がんは、すばらしいけしきで、海ではたくさんおよぎました。とてもたのしかったです。

春と秋には、そばがとれて、近くの畑では、白いそばの花がさいていて、とてもきれいでした。そして、新そばを食べると、とてもいいにおいがしておいしかったです。

家のまわりには、田んぼが広がっていて、カエルや白サギがとんでくるので、さんぽをするのも楽しみでした。

私にとって、豊後高田は、心と体を大きくしてくれたばしょでした。

今、わたしは、大分市にすんでいます。大きなどうろがあり、車やバスがたくさん走っています。いろいろなお店もあり、おいしい食べものもいっぱいあります。また、公園がいくつもあり、じまんの春日神社もあります。

春日神社には、お休みの日にあそびに行ったり、はつもうでや七五三でおまいりをしたりします。そして、今年の夏は、おまつりにさんかをして、チキリンやたいこをたたきました。はじめむずかしかったけど、神社の人や友だちのお父さんなどに教えてもらいながれんしゅうをして、上手にできるようになりました。わたしは、新しいことにちょうせんして、できることがふえてうれしいなと思いました。

大分には、すてきなばしょや人、物がもっともっとあると思うので、見つけていきたいと思います。

大分けん、大すき。